



犯罪のない安心で 安全なまちづくり

埼玉県警察のデータでは、平成29年中の県内における刑法犯認知総数は、前年と比較して6073件、8.7%減少しました。しかし、犯罪は撲滅されことなく、常に私たちの身近な場所に潜んでいます。犯罪を許さないという地域の目を光らせ、安心で安全なまちをつくりましょう。

問合先 安心安全推進課交通安全・防犯担当

平成29年の市内犯罪発生状況

市内の刑法犯認知総数は、平成28年と比較し85件(12・5%)減少しています。

特に、ひったくりが3件から0件、自動車盗難が16件から7件と大きく減少しています。

しかし、侵入窃盗は8件(38・1%)の増加となっています。

市内で発生している犯罪傾向

侵入窃盗

住居の鍵やガラスなどを壊し侵入される盗難被害が発生しています。外出時はドアだけでなく、窓も確実に施錠しましょう。雨戸を、きちんと閉めておくことや、敷地内にセンサーライトを設置することは、不審者の侵入を防ぐ対策として効果的です。日頃から侵入されにくい環境の整備を心掛けましょう。

女性を狙った犯罪

夕暮れから夜間にかけては、つきまとい、声掛け、身体を触るなどの不審者が出没しやすい時間帯です。被害にあわないためにはどの様な行動を取るべきか日頃から考え、回避できる態勢を整えておくことが重要で

す。

夜間に人目につかない暗い細い道などを一人で歩くことは避けましょう。

また、音楽を聴きながら、スマートフォンを操作しながら、などといった「ながら歩き」は、周囲の状況を察知しづらくなるだけでなく、犯人にも狙われやすくなります。

防犯ブザーをいつでも鳴らせる状態で携帯するなど、周囲を警戒して歩くようにしましょう。

危険を感じた際は、大声を出してその場から逃げ、近くの人に助けを求めるなどして、110番通報してください。



市内の振り込め詐欺被害発生状況

平成28年は3件の被害が発生し、平成29年は1件に減少しましたが、平成30年は10月末日

時点で4件に増加しています。日々詐欺グループから高齢者宅に、あらゆる手口の電話やハガキが届いています。

詐欺被害にあわないためには、「怪しい」と気付くことが大切です。

詐欺グループは、警察官や市職員、銀行員になります。ある時には、皆さんの大切な家族を装って電話をかけてきます。

しかし、誰を装ってきたとしても、おかしいと気付くことができれば、決してだまされることはありません。

相手が誰であっても、電話でお金やキャッシュカードの話が出たら詐欺を疑い、慌てず家族や友人に相談して情報を共有するなど、冷静な対応を心掛けましょう。

振り込め詐欺の主な手口

振り込め詐欺は、主にオレオレ詐欺、還付金詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺に分類されます。

詐欺被害がなくなる今でも、「振り込め詐欺は自分とは無縁」、「自分は絶対にだまされない」、そう思っている人はと

ても多いです。

はじめから詐欺と気付いていれば、もちろんだまされることはありません。

しかし、自分にかかってきた

その電話が、まさか詐欺だとは疑わないほど巧妙だからこそ、気付いたときには大事なお金を奪われてしまっているのです。

「自分は大丈夫」と過信せず、警戒心を忘れずに、在宅時でも留守番電話を設定して詐欺グループと話さないようにするなど対策が重要です。また、いざ電話がかかってき

たときに、動揺せずに詐欺だと判断できるよう、その手口を知っておきましょう。

オレオレ詐欺

子どもや孫を装い、「投資に失敗した」「会社のお金を横領した」などと様々な理由をつけて、金銭を要求してきます。

友人や同僚を名乗る者が自宅まで現金を受け取りに来る場合もあれば、指定した口座に振り込ませる場合もあります。

複数人が役割を分担し、より巧みに詐欺を仕掛けてきますが、言われるがままに現金

を準備したりせず、一度落ち着いて考え、必ず家族や友人に相談しましょう。電話でお金の話が出たときは内容をうのみにせず、自分から子どもや孫にかけ直して、確認するようにしてください。

還付金詐欺

市役所や税務署の職員などを装って還付金があると言い、その返還手続きという名目でATMでの操作へ誘導

し、お金をだまし取ろうとする詐欺です。

還付金がATM操作により返還されることは「絶対にない」ことを覚えておきましょう。

詐欺電話との区別が難しいときや心配なときは、電話を一度切って市役所や税務署の電話番号にかけ直し、受けた電話の内容を確認しましょう。

架空請求詐欺

インターネット有料サイトの使用など、身に覚えのないことをハガキや電子メールで請求してくる詐欺です。

市内でも、法務省などの名称を不正に使用し、「総合消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」などと記載された郵便ハガキを送り付け、民事訴訟の取り下げ費用などとして、現金や電子マネーなどを要求する詐欺が多発しています。

こうしたハガキが届いても、絶対に電話をかけず、警察に相談してください。

犯罪情報を提供しています

防災行政無線を活用した情報提供緊急性のある重要な犯罪情報や、振り込め詐欺と思われる予

兆電話が多くかかってくるなど、市内で被害が発生しそうな場合は、迅速に、かつ広域に注意喚起を促す必要があるため、防災行政無線を活用し情報を提供しています。

市のメールマガジンやツイッターなどを活用した情報提供

市ではメールマガジンおよびツイッターなどにより、不審者情報や詐欺情報など様々な犯罪情報を配信しています。

メールマガジンの登録方法は、市ホームページに掲載していますので、ぜひご利用ください。



メールマガジン

なお、市ホームページでも同様の犯罪情報を掲載しています。

みんなが安心して暮らせるまち

犯罪は、私たちの身近なところに存在し、いつ自分に降りかかってもおかしくありません。しかし、犯罪によって私たちの生活が脅かされることは決してあってはならないことです。一人ひとりの防犯意識が、自

分や家族を守るだけでなく、犯罪に強い地域をつくることにつながっていきます。

自分たちの暮らしを自分たちで守れるよう、一人ひとりが防犯対策を進めていただくとともに、地域ぐるみの防犯活動に、ご協力をお願いします。

防犯表彰を受賞しました

10月16日、埼玉会館にて埼玉県防犯のまちづくり県民大会が開催され、市から2名1団体が表彰されました。

この表彰は、振り込め詐欺撲滅キャンペーンや、市民青色防犯パトロールをはじめとした各種防犯活動を、長期にわたって実施していただいている功労を称えるものです。

全国防犯栄誉銅賞（公財）全国防犯協会連合会会長表彰

岸久子さん

地域安全功労者表彰（公社）埼玉

玉県防犯協会連合会会長・埼玉

県警察本部長連名表彰

中山博昭さん

地域安全功労団体表彰（公社）

埼玉県防犯協会連合会会長・埼玉

県警察本部長連名表彰

学童見守り隊脚折北部自治会

（代表者 小島福寿さん）